

平成18年度予算編成のポイント

* 数値は概数のため、端数は合わないことがある。

財 政 部

平成18年2月

予 算 規 模

事業の厳選や財政健全化の取り組みなどで財政規模は大幅に縮小

一般会計の予算規模は	約	613.3億円	(前年比	3.1%	19.6億円)
特別会計の予算規模は	約	549.0億円	(前年比	1.3%	7.0億円)
企業会計の予算規模は	約	283.7億円	(前年比	5.6%	16.7億円)
全 会 計	約	1,446.0億円	(前年比	2.9%	43.3億円)

収支状況（一般会計）

3年連続の赤字予算を回避、収支均衡予算を編成

(H ▲3.9億円 → H 収支均衡)

一般財源収入は	約	351.6億円	(前年比	2.8%	10.3億円)
歳出に必要な一般財源は	約	361.3億円	(前年比	2.9%	11.0億円)
財源対策は		9.7億円	(前年比	+3.2億円)	
- +		0.0億円	(収支均衡予算を編成)		

「しかし、平成17年度の決算見込みは、大変厳しく、累積赤字解消は困難」

H 4 定補正後の赤字額		12.1億円・・・
除雪費等専決処分		2.3億円・・・
5 定補正		3.0億円・・・
最終予算見込	+ + =	17.4億円

*** 決算見込はさらに厳しい(市税収入の減、除雪費の追加補正、不用額など)
赤字額は20億円程度**

H 1 8 予算編成の状況

	H 1 8 年度	H 1 7 年度	増・減	(単位：億円)
一般財源収入 (A)	351.6	361.9	▲10.3	
	(財源対策前)	(財源対策前)		
	↓	↓		一般財源収入が約2.8%減少
歳出充当一般 財源必要額 (B)	361.3	372.3	▲11.0	(+ +)
	(借換債導入前)			
	↓	↓		主な増・▲減
財源対策前の 財源不足額 (A) - (B)	▲9.7	▲10.4	+0.7	市 税 ▲4.2 所得譲与税 +4.7 普通交付税 ▲8.1 (臨財債含) 特例交付金 ▲2.3 など
	↓	↓		職員給与費 ▲3.0 退職手当 +2.4 扶助費 +1.1 公債費 ▲2.2 繰出金 ▲9.2 その他 ▲0.6
(財源対策) 他会計等	6.4	6.5		H 水道(2.5)産廃(1.0)基金(3.0) H 水道(1.0)産廃(0.5)基金(4.9)
	+	+		
借換債効果	3.3	-		公的資金借換債の導入の効果
	↓	↓		一般会計(2.3) 住宅特会(1.0)
最終的な財 源不足額	収支均衡	▲3.9		3年連続の赤字予算回避